サムライおおいた 出前授業

「士業」の役割を伝える in 大分大学

7人が仕事を紹介
鶴工建築科生徒も参加

県内建設関連団体の若手経営者や技術者などで組織する「士（サムライ）おおいた」は22日、大分大学減災・復興デザイン教育研究センター所長の鶴成悦久教授の講義「第14回　減災科学Ⅰ　防災・減災を支える技術と人材」に参加。54人の学生とオンラインで参加した鶴崎工業高校建築科生徒へ各士業の役割や防災・減災の取り組みなどを講義した。

鶴成教授が「登壇している各士業の人たちは、人材不足などの課題がある中、専門的な技術者として防災減災対策を支え、災害発生時の対応などをしている。きょうは技術者を取り巻く環境や仕事内容を学び、今後の建設業界を考えよう」とあいさつ。

サムライおおいたの松原恭博会長（協同エンジニアリング㈱取締役事業本部長）が「建設業は防災減災に必要な存在だ。資格を持つ私たちがどのように防災減災に関わっているのかを知ってもらいたい」と学生らに呼び掛けた。

あいさつをする鶴成教授

まず、BUILD OITA（おおいた建設人材共育ネットワーク）事務局である県建設技術センターの小島正道さんが事前レクチャーで登壇。

「県内の建設業従事者は2000年からの20年間で36%減少し、就業者のうち55歳以上が占める割合は40%。一方、29歳以下はわずか11%しかない」と深刻な人手不足を強調。人手不足が災害時の対応や復旧の遅れをはじめ、県土強靭化やインフラ整備の遅れなどを引き起こすため、産学官が連携して建設産業の人材確保と育成に取り組んでいるとした。

そして、建築士の日高雄介さん、土地家屋調査士の藤井茂雄さん、1級土木施工管理技士の伊勢祐真さん、コンクリート診断士の児玉明裕さん、技術士の益田晴也さん、測量関連業の大野裕徳さん、地質調査技士の吉田修一さんが、それぞれ専門とする士業の役割や防災減災への取り組みを紹介した。

学生らに呼び掛ける松原会長

登壇者一覧　①保有資格　②所属会社

益田　晴也 さん
①技術士（森林部門）
②協同エンジニアリング㈱サブリーダー
「高度技術で防災減災支える」

日髙　雄介 さん
①2級建築士、防災士
②暮＋建築設計代表
「地域とのつながりを大切に」

大野　裕徳 さん
①技術士（総合技術監理部門：下水道）
②測量会社の代表取締役
「測量士の担う責任は大きい」

藤井　茂雄 さん
①土地家屋調査士、2級建築士、1級建築・管工事施工管理技士
②土地家屋調査士藤井茂雄事務所、うどく点P㈱代表取締役
「土地の境界見極め財産守る」

吉田　修一 さん
①地質調査技士、RCCM（地質）、1級土木施工管理技士、1級さく井技能士、地下水利用設計管理技術者
②明大工業㈱取締役技術営業部長
「地質調査がすべての始まり」

伊勢　祐真 さん
①1級土木施工管理技士
②㈱安部組工務部主任
「災害発生時は最前線で活動」

小島　正道 さん
①1級土木施工管理技士、コンクリート技士
②BUILD OITA事務局（県建設技術センター技術部次長兼研修広報課長）
「産学官連携で人材を育成へ」

児玉　明裕 さん
①工学博士、コンクリート診断士、コンクリート構造診断士、上級土木技術者
②公月測量設計㈱執行役員
「インフラ機能の維持と向上」

参加者たちの声を聞く

オンラインで参加した鶴工の生徒

授業のねらい

平時から防災と減災を支える専門技術者（主に国家資格を有する士業）を取り巻く現状や課題を学び、各職業の理解を深める。そして課題解決に向けたアイデアなど、学生参加による議論を展開する。

今回の講義には理工学部、経済学部、医学部、教育学部から学生54人が参加した。

「士（サムライ）おおいた」とは

士業（専門資格）団体の若手技術者の交流のために組織された団体。迫りくる大災害から、ふるさと大分の県土と県民を守るため、連携を深めながら互いに研さんし、若手技術者にしかできない活動を積極的に展開している。

【参加士業】
- 建築士
- コンクリート診断士
- 土地家屋調査士
- 測量士
- 技術士
- 地質調査技士
- 施工管理技士

学生アンケートの結果
（人数、複数選択可・回答なしもあり）

Q 興味のある士業は？（講義前）

①建築士	17人	⑤土地家屋調査士	5人
②測量士	13人	⑤施工管理技士	5人
③興味なし	11人	⑤技術士	5人
④コンクリート診断士	6人	⑧地質調査技士	4人

Q 建設関連業のイメージは？

①暑そう・きつい・汚い・危険	31人
②災害対応や社会を支える重要な仕事	13人
③なんか怖い人が多そう	8人
④かっこいい・給料が良さそう	4人

Q どのような企業に魅力を感じる？

①給与や待遇がよい	30人
②社内の雰囲気が良い	20人
③将来性がある	6人

Q 企業を調べる際に知りたい情報は？

①実際の仕事内容	26人
②給与水準	18人
③社風	10人
④求める人物像	2人

Q 災害が起きた時、真っ先に建設業の人々が活動していることを知っているか？

①知らなかった	32人
②なんとなく知っていた	12人
③考えたことがない	8人
④よく知っていた	3人

Q 講義を受け建設関連業と士業についてどのようなイメージになったか？

①ネガティブなイメージからポジティブになった	19人
②ポジティブにイメージ通り	11人
③建設関連業で働きたくなった	3人
④ネガティブなイメージから変わらない	1人

Q どの士業に興味が湧いた？（講義後）

①地質調査技士	17人	⑤測量士	2人
②土地家屋調査士	4人	⑤建築士	2人
②技術士	4人	⑤施工管理技士	2人
④コンクリート診断士	3人		